

安全のために必ずお守りください。

警告

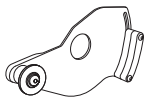
- 乗車時に衣服のすそがチェーンに巻き込まれないように注意してください。転倒することがあります。
- チェーンの伸び具合や損傷がないかどうか点検してください。伸びたり損傷があった場合には交換してください。チェーンが切れて転倒することがあります。
- 2本の左クランク締め付けボルトは片側を一度に締め付けることなく交互に締め付け、締め付けトルクが12～14N・mであることをトルクレンチで確認してください。また、約100km走行後にトルクレンチで締め付けトルクを再確認してください。定期的に締め付けトルクを確認することも重要です。締め付けトルクが弱かったり、交互に締め付けられていない場合は左クランクが外れ、転倒して重傷を負う場合があります。
- 乗車前にクランクに亀裂が無いかどうか確認してください。クランクが折れて転倒することがあります。
- インナーカバーが正しく装着されない場合に、軸に錆が発生しそれにより軸が破損し、転倒して怪我をする場合があります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- FC-M810シングル用パッシュガードは、FC-M665では正しく機能しませんので使用しないでください。変速操作に支障をきたす恐れがあります。
- チェーンがパッシュガードに乗り上げないようにトップ側アジャストボルトを調整してください。
- ギアの組み合わせは必ず“仕様”のギア歯数構成にしたがってください。他のギアを使用するとギア間の寸法が変わり、ギアの間にチェーンが入り込む場合があります。
- チェーンが図の位置にある場合チェーンとフロントギアあるいはフロントディレイラーが接触して音鳴りが発生する場合があります。音鳴りが気になる場合は、後ろギアを1～2段大きいギアに変速してください。
- ハンガーが平行でない場合、変速性能が低下します。
- 乗車前には締結部にガタ及び緩みの無い事を確認してください。また定期的にクランクやペダルの増し締めを行ってください。
- ボトムブラケット軸と左クランク締結部からキシミ音が発生した場合、締結部のグリスアップを行い、指定トルクで確実に締め付けてください。
- ベアリング部にガタが感じられるようになったら交換してください。
- 乗車時のペダリングに異常を感じた時は再度点検をお願いします。
- ボトムブラケット周辺の高圧洗車は行わないでください。
- 左右のアダプターを組みつける際には、グリスを塗布してください。
- チェーンは、より良い機能が発揮されるために指定チェーンを使用してください。ワイドタイプチェーンは使用できません。
- チェーン飛びが発生するようになった場合はギアとチェーンを交換してください。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を延ばすのに効果があります。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

チェーンデバイス

BBマウントタイプのチェーンデバイスを挟む場合、右側のスペーサーの枚数は、下記の表に従ってください。表の厚みのものでないとフロントチェーンホイールの緩みや脱落、変速不良が起こる可能性があります。BBマウントタイプのチェーンデバイス、ISCGタイプのチェーンデバイスを自転車に取付ける場合は、干渉に注意してください。



イラストはBBマウントタイプのチェーンデバイスの一例です。

＜チェーンデバイスの厚み（BBマウント）＞

2.5mmの場合

モデルナンバー	ハンガー幅		
	68 mm	73 mm	83 mm
FC-M810-1 FC-M665 FC-M810-2	2.5mm 1枚	必要なし	
FC-M815-1 FC-M815-2			2.5mm 1枚

5.0mmの場合

モデルナンバー	ハンガー幅		
	68 mm	73 mm	83 mm
FC-M810-1 FC-M665 FC-M810-2	必要なし	設定なし	
FC-M815-1 FC-M815-2			必要なし

パッシュガード

シマノのパッシュガードはクランクと一緒に強度・剛性・変速性が設計されています。そのため、パッシュガードを装着しない場合にチェーン落ち、ギア曲がりやスライダー部の折れが起こる可能性がありますのでパッシュガードのご使用をおすすめします。また同様に、他社製パッシュガードを使う場合にも、変速不良やチェーン落ち、ギア曲がりやスライダー部の折れが起こる可能性があります。パッシュガードを装着しない場合や、他社製パッシュガードを使用した場合は製品の保証はいたしません。

ご使用方法

SI-0062A-003

FC-M665

フロントチェーンホイール

仕様

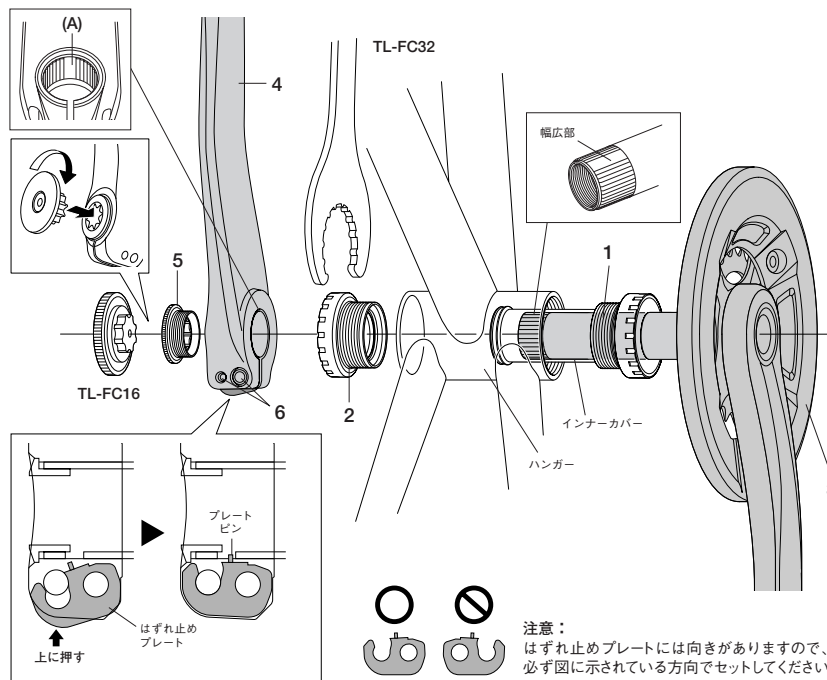
モデルナンバー	FC-M665
対応フロントディレイラー	ダブル (FD-M665 / M667 / M665-E)
ギア歯数構成	36-22T
ギア取付ピッチ径	104 mm / 64 mm
クランク長さ	170 mm, 175 mm
チェーンライン	46.8 mm
ハンガー幅	68, 73 mm
ワンネジ寸法	BC1.37 (68, 73mm)

フロントドライブシステムの取扱い説明書もあわせてお読みください。

フロントチェーンホイールの取付け

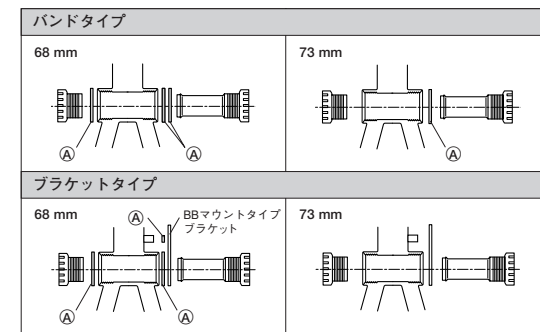
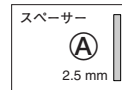
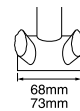
■ 図の手順で組み立てます。

- 1, 2 右アダプター（逆ネジ）及び左アダプター（正ネジ）を、専用工具TL-FC32 / 36を使用して取付けます。締め付けトルク：35 - 50 N・m {350 - 500 kgf・cm}
- 3 右クランクユニットを挿入します。
- 4 左クランクのA部と右クランクユニットの軸部の幅広部を合わせてセットします。
- 5 TL-FC16/18でキャップを締めつけます。締め付けトルク：0.7 - 1.5 N・m {7 - 15 kgf・cm}
- 6 はずれ止めプレートを押し込み、プレートピンが確実にセットされていることを確認し、左クランクのボルトを締めつけます。（5mmアレンキー）
注意：2本のボルトは一度に締めつけることなく、交互に締め付けていってください。締め付けトルク：12 - 14 N・m {120 - 140 kgf・cm}



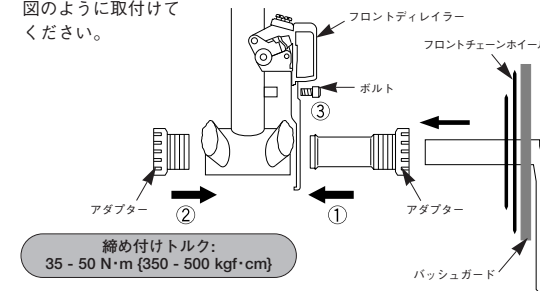
■ スペーサーの取付け方法

- 1 ハンガーの幅を測り68mmか73mmかを確認します。
- 2 次に下の図に基づいてアダプターをセットします。



ブラケットタイプの場合

図のように取付けてください。

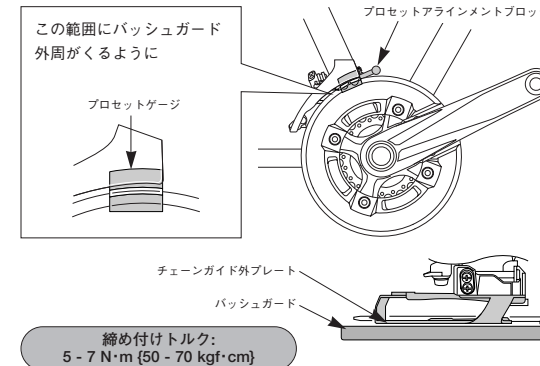


フロントディレイラーの取付け

図のように調整し、フロントディレイラーを取付けてください。このときプロセットアラインメントブロックをはずさないでください。

＜フロントディレイラーの高さ、平行調整＞

図のようにチェーンガイド外プレートの平らな部分がパッシュガードの内面に来る位置で、プロセットゲージの指定の範囲にパッシュガードの外周が来るように高さを調整し、外プレートの平らな部分がパッシュガードの内面と平行になるように調整してください。5mmアレンキーを使用して固定します。



推奨締め付けトルクにおいても、カーボンフレームの場合には、フレームへの損傷ならびに固定不十分となる可能性があります。適切なトルク値に関しては、完成車メーカーまたはフレームメーカーでご確認ください。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ
堺市堺区老松町9丁77番地 〒590-8577